

取扱説明書

保証書付き

電波掛け時計

乾電池(別売品)は指定のものを使う

■充電式電池は使えません。

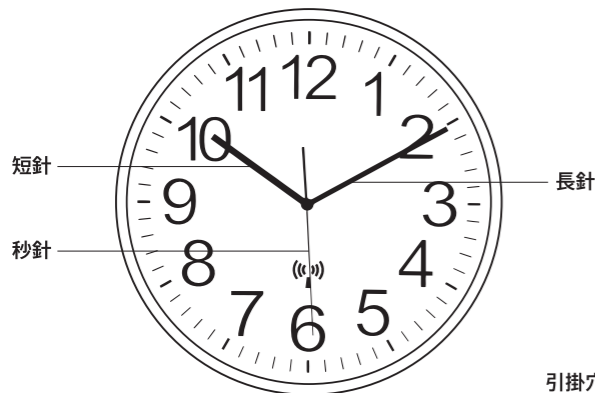
本製品は、防水防滴仕様ではありません

この度は、当社商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。取扱説明書は大切に保管していただき、必要なお読みください。

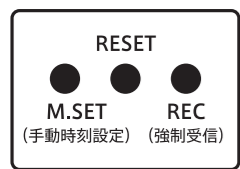
各部のなまえ

- 商品により仕様形状が異なります。(イラストはすべてイメージです)
- 商品によっては秒針のないものもあります。
- 本品に乾電池、壁面用の取付金具(引掛ねじ/フック)は付属していません。
- 市販品の壁面用取付金具をお使いになる場合は、その注意書きをよく読んでお使いください。

(表面)



(裏面)



引掛穴

■壁面用の取付金具(引掛ねじ/フック)は付属していません。市販品をお使いください。

注意

壁面用の取付金具は、丈夫な壁や柱などに取り付ける石膏ボードに取り付ける場合は、専用の取付金具(市販品)を必ず使う
■落下して、けがや破損の原因になります。

電池ホルダー

■単3型乾電池1個(別売品)をムーブメントにセットします。
■充電式電池、オキシライド電池は使用しないでください。

取り扱い上のご注意

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ず守ってください。

注意

注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

本体を分解、修理、改造しない
■火災や感電、異常動作の原因になります。

高温や低温になる場所、湿気やホコリの多いところ、窓辺や車内など直射日光にあたる場所、強い磁気にあたる場所、激しい振動のある場所での使用や保管は避ける
■変形や変質、故障の原因になります。

火気の近くや加熱物の近くで使用しない
■液漏れや発火、破裂の原因になります。

水につけたり、水をかけたりしない、本体を丸洗いしない
■ショートや感電の原因になります。

お手入れは、シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使わない
■変形や変質、変色の原因になります。

取付金具について

注意

注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

壁面用の取付金具は、強度の強い材質や構造の壁面や柱(時計の重さに耐えられる)に取り付ける石膏ボードに取り付ける場合は、専用の取付金具(市販品)を必ず使う
■落下して、けがや破損の原因になります。

壁掛けの場合、市販品の壁面用の取付金具(引掛ねじ/フック)がしっかりと固定されていることを確認する壁に取り付けたときは、時計を上下左右に軽く動かし、はずれないことを確認する
■取り付け方が不完全だと、落下して、けがや破損の原因になります。

使用場所について

注意

注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

- 下記のような場所では使わない(時計本体や乾電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こす原因になります。)
 - ・温度が40℃以上になるところや直射日光のあたるところ(屋外、暖房器具などの熱風や火気に近いところ、など。変形や変質、故障の原因になります。)
 - ・温度が0℃以下(氷点下)になるところ(プラスチック部品や乾電池の劣化の原因になります。)
 - ・塵やホコリの多いところ(空気中のゴミが歯車や接点にはさまって、故障の原因になります。)
 - ・大型テレビやスピーカーのそばなど、強い磁気のあるところ(磁力の影響で、時計が正しく進まない原因になります。)
 - ・浴室など湿気の多いところ、また水がかかるところや、加湿器の蒸気が直接当たるようなところ(プラスチック部品や乾電池の劣化の原因になります。)
 - ・ビニール系素材の壁や敷物などの上(壁や敷物、時計が汚れたり破損する原因になります。)
 - ・空気が非常に乾燥した場所や、湿気の多い状態が続くところ(フレームが変形して破損する原因になります。)
 - ・電波ノイズを発生させるものの近く(高圧線、テレビ塔、電車の架線近くや、テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコンなどの電化製品の近く。誤受信の原因になります。)
 - ・電波障害のおきるところ(工事現場、空港や軍事基地、交通量の多い場所の近くや、自動車、電車、飛行機など乗り物の中。誤受信の原因になります。)
 - ・スチール机など金属製の家具の上や壁の近く(誤受信の原因になります。)



鉄筋、鉄骨の建物中、および周辺(マンションやビルなど)



高圧線、架線の周辺



乗り物中(自動車、電車、飛行機など)



山あいなど



電波障害のあるところ(工事現場など)



家庭用電化製品OA機器のそば(テレビ、パソコン、スピーカーなど)

乾電池に関して

警告

注意を無視した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

電池を火の中に入れてたり、加熱、分解、改造しない
■絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池の(+)と(-)を逆にして使用しない
■充電やショートなどで異常反応を起こして、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池の(+)と(-)を計金などで接続したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない
■電池がショート状態となり、過大電流が流れて、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しない
■特性の違いから、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

絶対に充電しない
■電池は充電式に造られていません。充電すると絶縁物や内部構造などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池は、乳幼児の手の届かない所に置く
■万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電池から漏れた液をなめた場合には、すぐうがいをして医師に相談する
電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流す
■皮膚に障害を起こすおそれがあります。

使い切った電池はすぐに機器から取り出す
■使い切った電池を機器に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、漏液、発熱、破裂したり、機器が破損するおそれがあります。

長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出す
■電池から発生するガスにより、漏液、発熱、破裂したり、機器が破損するおそれがあります。

注意

注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。

電池の外装ラベルをはがしたり、傷付け

■電池がショートし、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない

■漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池を変形させない

■絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池に直接はんだ付けしない

■熱により絶縁物やガス排出弁などを損傷させたりして、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池は直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しない

■漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池の使用、保管時に、発熱、変形、外装ラベルの損傷など今までと異なることに気づいたときは使用しない
■漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

電池を水などで濡らさない

■電池が発熱したり、電池端子にサビが発生するおそれがあります。

電池を保管する場合及び廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁する

■他の電池や金属製のものと混ぜると、漏液、発熱、破裂のおそれがあります。

機器の取扱説明書や注意書きに従って、用途に適した電池を正しく使用する

■使用機器によっては、仕様や性能が合わない場合があります。

直射日光・高温・多湿の場所を避けて使用、保管する

■電池が漏液するおそれがあります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

「乾電池」は、自治体の条例に従って廃棄してください。

お願い

- 本品を業務用として使わないでください。
- 製品および梱包材を廃棄する際は、お住いの自治体の取り決めに従ってください。
- 天災などの不可抗力や、お客様の取り扱い上の不注意、不当な修理・改造に対する保証は致しかねます。

お知らせ

- この時計は、標準時刻電波を受信すると自動的に現時刻を表示します。
- 離島などでは、受信しない、受信しにくい場合があります。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外では電波修正機能のご使用はできません。
- 夜間は昼間比べて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信できる場合があります。

使いかた

1 電池ボックスに乾電池（別売品）を入れ、リセットボタンを押してください。

- 乾電池は、⊕ ⊖を間違えないように正しく入れてください。
- 充電式電池は使用しないでください。

2 針が動き出し、「12時の位置」で停止します。（電波の受信を開始します。）

■秒針が回り始め、12時の位置で停止します。秒針が11時55分と12時の間を指している場合はもう一度回転し、12時の位置で停止します。続いて長針／短針が回り始め、12時の位置で停止します。

⚠この状態で、電波の受信が始まっています。15～20分停止し続けますが、異常ではありません。

現在時刻が受信できたとき

■針が動き出し、正確な現在時刻を表示します。
・電波時計は毎日6回に分けて電波を受信して、時刻の誤差を修正します。
受信時刻は、1:00 3:00 5:00 13:00 17:00 21:00
・受信時刻に、手動設定モード・強制受信モードになっている場合は、電波受信は行いません。

現在時刻が受信できなかったとき

■針は動き出しますが、現在時刻になっていません。

→「受信できなかったときは・・・」に従って、場所を変えて強制受信をお試しいただくか、手動による時刻設定を行ってください。

3 時計を設置する

- 「取り扱い上のご注意」に従って設置してください。
- 窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

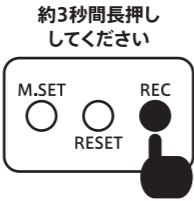
受信できなかったときは・・・

強制受信

1. 設置する場所を変えて電波の「強制受信」を試してみてください。

■電波を受信しやすい窓際などに時計を移動し、REC (強制受信) ボタンを約3秒間長押ししてください。（針が早送りで進み、12時位置に停止）→受信を開始します。（最長20分間）

■それでも受信できなかったときは、針は元の時刻に戻ります。場所を変えて再度強制受信してください。



2. 朝までそのままにしておいてください。

- ・夜間は電波状態が良くなりますので、そのままにしておくとう受信できることがあります。

手動による時刻設定

受信しない場合には、手動により長針／短針の時刻設定を行います。

- ①M.SETボタン（自動時刻設定）ボタンを約3秒間長押しします。
- ②M.SETボタンで時刻を設定します。
 - ・M.SETボタンを長押しすると長針が早送りで進み、はなすと長針が停止します。

1回押す : 1分進みます
2秒以上長押しする : 長針を早送りします

- ・約30秒間何も操作しないとセット状態を解除します。
- ・秒針を修正する機能はありません。

お願い

■電波受信中（すべての針の早送り中、およびすべての針が停止中）はボタンの操作をしないでください。誤作動、故障の原因となります。

お知らせ

■電波が受信できないときや、電波の受信ができない場所ではクォーツ時計として動作します。時間精度は月差±30秒以内です。

電波時計について

■電波時計／電波修正機能とは

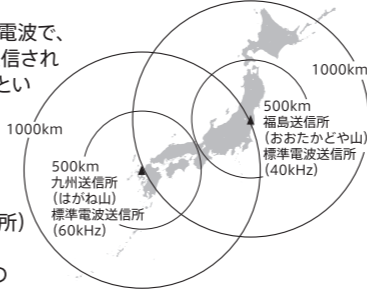
- ・電波時計とは、正確な時刻情報（日本標準時）を乗せた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。（JFY福島局：周波数40kHz、九州局：周波数60kHz）

■標準電波とは

- ・情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報を乗せた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高性能を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

- ・標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東西2カ所）からおおむね1000～1200kmです。
- ・この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。
- ・ただし、天候、設置場所、向き、時間帯、あるいは地形や建物の影響などにより、受信できない場合があります。



■ご注意

- ・電波障害などにより、誤った受信をする場合があります。また使用場所や電波状況によっては受信できないことがあります。このようなときは、場所を変えてお使いください。
- ・電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- ・標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信をおこなうため、一時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により、停止することがあります。

お手入れのしかた

- 薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って、汚れをふき取ってください。
- 熱湯、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。

お知らせ

- 製品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障、破損に対する保証は致しかねます。

故障かな！？と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。それでも調子が悪いときは、販売店へご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくこと／なおしかた
針が動かない	■乾電池が入っていますか？ 乾電池の向きは正しいですか？ →乾電池を正しい向きで入れる。 ■乾電池の寿命ではありませんか？ →新しい乾電池に交換する。 ■電池端子や接片が汚れていませんか？ →電池端子や接片の汚れを取り除く。 →乾電池を入れたまま2～3回まわす。 ■静電気などで、誤動作している可能性があります。 →乾電池を抜いて入れなおす。 ■手動受信中、または時刻修正中ですので、受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	■手動受信中、または時刻修正中ですので、受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	■自動受信中です。受信終了後、秒針が動きます。 ■電池交換が近づいています。 →指定の新しい乾電池を正しい向きで入れる。
スイッチ操作が効かない	■時刻修正中、または受信動作中です。 →時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	■受信に失敗していませんか？ →「受信できなかったときは・・・」に従って操作する。 ■電池残量が少なくなっていないですか？ →指定の新しい乾電池を正しい向きで入れる。

⚠時刻が合わない、誤作動を繰り返す場合などは、RESETボタンを押してください。RESETボタンを押すと、時計内部の記録がすべて削除され、針がすべて12:00の場所に帰り、再び電波受信します。

仕様

精度 : 平均月差±30秒（電波受信による時刻修正をおこなわない場合／気温0～40℃で使用した場合）
使用温度範囲 : 0～40℃
乾電池寿命 : 約1年（アルカリ乾電池使用時）
電波受信機能 : 自動受信
・毎日午後2時に2つの電波（40kHz/60kHz）のうち、最適な一方を選択し、受信。以降1日6回時刻の補正をおこないます。
・受信から次の受信までは、クォーツの精度で動いています。
手動受信

時刻合わせ機能 : 電波受信による自動セット、または手動セット

■指針（針の表示）誤差について
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。
長針、短針、秒針共通 : ±2度以内（1分単位の目盛りがある場合は、1/3目盛り相当以内）

保証規定

- (1) 保証期間中に取扱説明書、注意事項に従ったお取り扱いのもとで万が一機械が故障した場合、お買い上げの販売店までこの証書を添えてお申し出ください。無償にて交換いたします。ただし、次の場合には保証期間内であっても有償交換となります。
 - 誤ったご使用による故障、またお取り扱いの不注意による故障
 - 不適當な修理や改造、分解による故障
 - 火災、地震、水害等の天災による故障及び異常電圧による故障、損傷
 - お買い上げ後の使用や移動、運送、落下、転倒等による傷、故障、損傷
 - 本保証書のご提示がない場合、字句を書き換えた場合、または本保証書に販売店名やお買い上げ日の記載がない場合
 - 一般家庭用以外の用途（業務用等）でご使用になった場合の故障
- (2) この保証書は再発行いたしません。大切に保管しておいてください。
- (3) この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無償交換をお約束するものです。この保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (4) 交換の際、外觀の違う代替品をご用意させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- (5) ネットオークション等、個人の転売からのご購入の場合、保証いたしかねますので、予めご了承ください。
- (6) 本書は日本国内においてのみ有効です。

販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。ご贈答品・記念品も含めて必ず記入、捺印してお客様にお渡しください。

ご購入いただきましたお客様へ

ご購入後、本保証書に販売店やお買い上げ日の記載にもれがないか、今一度ご確認ください。記載がない場合は、お買い上げ販売店にお申し出いただくか、レシート等お買い上げ日付を証明するものを保管してください。保証書に記載がない場合、レシート等がない場合は、保証いたしかねます。予めご了承ください。

保証書

■商品名 : 電波掛け時計

■保証期間 : お買い上げより6ヶ月

■お買い上げ日 : 年 月 日

■お客様 お名前:

ご住所:

T E L :

■販売店 店名:

住 所:

T E L :

